

産業道路 曲がりを少なくする

# 道路などの計画要望

A middle-aged man with dark hair and a slight smile is holding a white rectangular card in front of him. The card features large red Chinese characters '第一号' (Number One) on the left and '同意' (Agree/Accept) on the right. Below the main text, there is smaller, illegible black text. The background is an indoor setting with a painting and a wooden structure visible.

# 上道さん

# 備産山岡を更に練りこみ中

測量同意すすむ！

**4区 要望内容**

★水源・魚付林・湾が有機的に融合した住環境をつくるをつくりたい★森を守り湾の総合的な環境（沢水・景観を守る、土砂災害防止する、養殖を豊かにする）を破壊する道路や宅地造成をしない

**道路の要望1** 各所に遊歩道と公園をそなえもつ幅6mの海岸道路（産業道路）をつくる。観光に寄与する美しい外観の協同漁具庫を各所に備えている。海拔12m以上の位置に現在ある生活道路を水平に北から南へつなぎ通す。各所で海岸道路や既存の海から山へ向かう路につなぐ。水平に貫通される生活道路は図示するが北から上道（小沢波到達路とし、時と共に311大震災と3）道路には夜間の地震を想定しえらにソーラー街灯・放送を備えていける。

4）水平の生活道路（幅4m）は津久保尻（北古館）中島を結ぶことによって、各建物によって生活道路より海側に住宅を建設実施させぬよう戒める。

5）上記の生活道路を整備することによって、各地に散り暮らす被災者の藤浜生活復帰を誘導し藤浜地区の人口の流失を防止する。

★集落内個別高台移転や集落内高台集団移転（2,3戸）の新規住宅地開発を容易にし誘導し★地域の人口増化を推進させる★そのことによって面的的に広がるような乱開発を阻止し漁業集落の景観を守り地域に暮らす人々が所有する資産価値を高める働きをもたらせる★既存生活道路の性能向上によって日常生活の利便性を向上させる。

★生活道路は両端が安野沢、越路を通り宿浦地区につなぐ★**集会所**について、災害時に避難し集い暮らすことがでる★備蓄庫を持つ★沢水をため置くことなどが非常時の飲料水などにする★夕日の見える温泉（大浴場）を備える★燃料は魚付林から出る材木を活用する★電源喪失に備えソーラー発電と蓄電設備をもつ★会議室を兼用し宿泊可能な部屋を持つ★厨房を備え持つ共同便所遊歩道や公園を各所に備え持つ産業道路沿いに共同便所を作り訪れる観客などに提供する。

**市役所などの協働関係について** 6月10日の要望案づくりには唐桑支所の課長さんをオブザーバーにお招きし参加いただいた。今後も地元の人々と役所の人々が情報共有していくこととする。